

国語科『国語応用』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	3	単位数	2	授業形態	一斉
教科書 (出版社)	なし		副教材等 (出版社)	常用漢字の級別学習	コンプリート 二訂版(啓隆社)
学習目標	○1年次の現代の国語、言語文化、2年次の国語表現で学習した内容を総合的かつ発展的に扱うとともに、漢字・語彙の学習や創作活動を通じて国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付け、百人一首を通じて我が国の言語文化への理解を深める。				
学習方法	○漢字・語彙の読み書きを通して、生涯にわたる社会生活において必要な言葉の力を身につける。 ○課題に沿った創作活動を行い、表現する力を身につける。 ○文学作品に関して興味のある事について調べ、発表するなかで、自ら学び考える力を身につける。 ○百人一首を通じて、楽しみながら古語や古典常識、和歌の世界観や当時の価値観を学ぶ。				
学習評価	評価の観点		評価の観点の趣旨		
	ア	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		
	イ	思考	話すこと 聞くこと	目的や場に応じて、話題、内容、構成等を工夫して自分の考えを伝えけるとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりする。	
	ウ	表・現 断・	書くこと	伝えたいことを明確にし、的確に伝えるために文章の構成や展開、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫して書く。	
	エ		読むこと	叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。	
	オ	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けようとしている。		
評価方法	①	②	③	④	⑤
観点	単元考査・実力考査	発表・発言	授業の取組	ノートやワークシート	作成物
ア	○	○	○	○	
イ		○	○	○	
ウ		○	○	○	○
エ	○	○	○	○	○
オ		○	○	○	○

学習計画

学期	編・章	単元	学習内容	評価の観点					評価規準	評価方法
				ア	イ	ウ	エ	オ		
前期中間	現代文	随想 随想(エッセイ)の読解と執筆	1 随想の特色や読み方を学び、叙述に即して読み味わう。	○				○	・随想の特色や読み方を学び、叙述に即して読み味わっている。	① ② ③ ④
			2 いくつかの随想を読み比べた後に、それらを参考にしながら随想を書く。また、それを互いに批評し合う。	○	○			○	・作品について学んだことを活用しながら、自分の思いを言葉で表現することができる。	③ ④ ⑤
前期期末	古文	和歌 百人一首①	1 和歌の文学史的意義を理解し、百人一首の特色をおさえる。	○				○	・和歌の文学史的意義やその特色を理解している。	① ② ③ ④
			2 かるた遊びを通じて和歌に触れ、和歌の読解を通じて現代の我々との共通点、相違点を考えながら内容を読み取り、思いや考えを深める。	○				○	・現代の我々との共通点、相違点を考えながら内容を読み取り、言語文化についての思いや考えを深めている。	① ② ③ ④
	現代文	評論 評論の読解と投書の執筆	1 西洋と日本の比較を用いて書かれている文章を読み、筆者の主張をとらえる。	○				○	・西洋と日本の比較を用いて書かれている文章を読み、筆者の主張をとらえることができる。	① ② ③ ④
			2 同様のテーマ、形式の文章を読み比べ、共通点をとらえながら日本文化の特徴についてまとめる。	○				○	・同様のテーマ、形式の文章を読み比べ、共通点をとらえながら日本文化の特徴についてまとめることができる。	② ③ ④
			3 新聞の投書欄に投書する。	○		○		○	・いくつかの評論を参考にしながら、自分の考えを説得力のある文章にまとめることができる。	③ ④ ⑤

後 期 中 間	現代文	小説 森鷗外 夏目漱石 ほか	1 明治、大正期の短・中 編小説を読み、小説表 現の豊かさを学ぶとと もに人間や人生につい ての考えを深める。	○			○	○	・ 語彙を豊かにし、小説表現 に即して読み味わうことが できる。	① ② ③ ④
				○			○	○	・ 小説に表れた人間や人生に ついての考え方について、 自分の考えを持ち表現でき る。	② ③ ④
			2 読んだ小説を踏まえて 課題を設定し、課題に 応じて進行や形態を工 夫して話し合う。	○	○			○	・ 読んだ小説を踏まえて課題 を設定し、課題に応じて進 行や形態を工夫して話し合 うことができる。	② ③
	古文	和歌 百人一首②	1 和歌の表現技法につい て学び、和歌の歴史的 な流れやそれぞれの内 容等の特色をとらえ る。	○			○	○	・ 詩歌のさまざまな形態につ いて学び、歴史的な流れや それぞれの内容等の特色を とらえている。	① ② ③ ④
			2 百人一首から興味を持 った和歌を一つ選 び、鑑賞文を書く。	○		○		○	・ 選んだ和歌に関して適切な 鑑賞文を書くことができ る。	③ ④ ⑤
後 期 末	現代文	小説 安部公房 井伏鱒二 ほか	1 文章を読んで、作品の 寓意を読み取る。	○			○	○	・ 文章を読んで、作品の寓意 を読み取ることができる。	① ② ③ ④
			2 その他の寓意小説を読 み味わい、読書の幅を 広げる。	○			○	○	・ その他の寓意小説を積極的 に読み味わい、自分の解釈 や感想についてまとめるこ とができる。	② ③ ④